

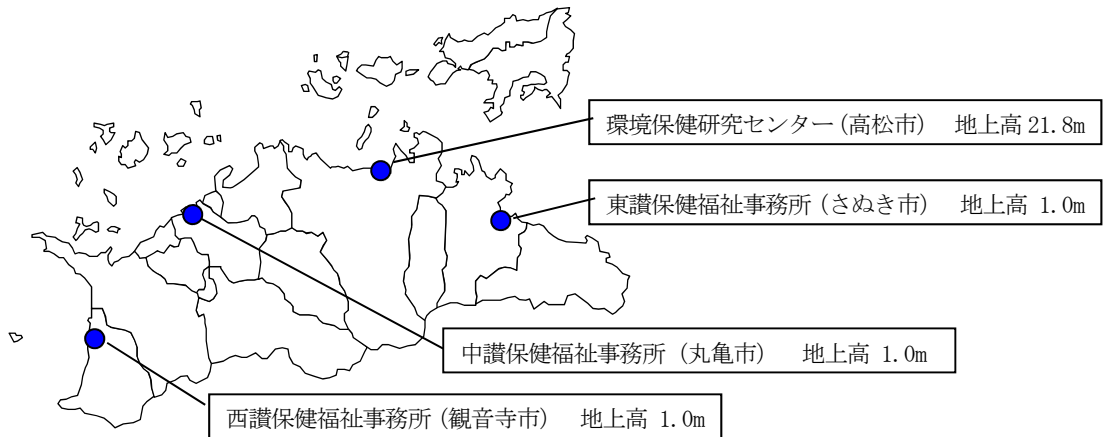
香川県内の放射線量等の測定結果について

1 直近の測定結果

1) 大気中の放射線量

①モニタリングポストによる常時監視

○大気中の放射線量は、県内4箇所のモニタリングポストで常時監視しています。



平成24年4月以降のモニタリングポストのデータは、原子力規制委員会ホームページ（全国及び福島県の空間線量測定結果）<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>で公表しています。

<測定結果の概要>

区分		放射線量（マイクロシーベルト／時）											
		環境保健研究センター（高松市）			東讃保健福祉事務所（さぬき市）			中讃保健福祉事務所（丸亀市）			西讃保健福祉事務所（観音寺市）		
		平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
平成28年	5月	0.053	0.051	0.122	0.076	0.073	0.088	0.054	0.052	0.077	0.056	0.053	0.071
	6月	0.053	0.051	0.074	0.075	0.072	0.099	0.055	0.052	0.080	0.056	0.050	0.078
	7月	0.052	0.050	0.062	0.075	0.072	0.080	0.054	0.052	0.064	0.056	0.053	0.062
	8月	0.053	0.051	0.071	0.076	0.074	0.090	0.055	0.053	0.084	0.057	0.055	0.076
	9月	0.053	0.050	0.106	0.076	0.073	0.102	0.055	0.053	0.076	0.056	0.053	0.073
	10月	0.053	0.051	0.064	0.076	0.073	0.086	0.055	0.053	0.070	0.056	0.054	0.076
	11月	0.053	0.051	0.063	0.076	0.073	0.093	0.056	0.054	0.069	0.056	0.054	0.066
	12月	0.053	0.051	0.072	0.076	0.071	0.094	0.056	0.053	0.095	0.056	0.047	0.080
平成29年	1月	0.053	0.051	0.067	0.075	0.072	0.095	0.055	0.053	0.072	0.056	0.054	0.075
	2月	0.053	0.051	0.075	0.075	0.069	0.105	0.055	0.052	0.090	0.056	0.050	0.094
	3月	0.053	0.051	0.069	0.075	0.073	0.089	0.055	0.052	0.078	0.056	0.053	0.076
	4月	0.052	0.051	0.066	0.075	0.072	0.089	0.054	0.052	0.080	0.056	0.047	0.077

*東讃保健福祉事務所での平均値が他の地点に比べ高い原因は、他の岩石に比べて自然放射線をやや多く放射する花崗岩を多く含む地質であることが影響していると考えられる。

**最大値の変動は、大気中に漂っている短寿命の天然の放射性物質が降雨により地表に集められたことによるものと考えられる。なお、環境保健研究センターの最大値の変動には、近隣工場で行われる放射線を用いた検査が影響している場合もあるが、一時的・限定的なものである。

②サーベイメータによる補足調査

○モニタリングポストの測定値を補足するため、平成24年4月からは、毎月、環境保健研究センターと小豆総合事務所で、サーベイメータを使用して、地上高1mの空間放射線量を測定しています。

(地上高1.0m)

W	測定年月・放射線量 (マイクロシーベルト/時)											
	平成28年								平成29年			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
環境保健研究センター	0.061	0.059	0.061	0.061	0.057	0.059	0.057	0.061	0.061	0.061	0.063	0.061
小豆総合事務所	0.062	0.064	0.064	0.064	0.060	0.062	0.065	0.063	0.064	0.060	0.066	0.076

2) 大気浮遊じん

○毎年、4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月のそれぞれ3箇月間の内、延べ6日間環境保健研究センター（高松市）で採取した大気浮遊じん（大気中に浮遊している塵）について、放射物質を測定しています。

平成29年の1月～3月分については、採取した大気浮遊じん（大気中に浮遊している塵）の放射性物質について測定した結果、放射性セシウム等は検出されませんでした。

採取期間	セシウム-134 (ベクレル/m ³)	セシウム-137 (ベクレル/m ³)	ヨウ素-131 (ベクレル/m ³)
平成29年1月～3月の内、 延べ6日間	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)
検出下限値	0.0000082	0.0000077	0.000090

3) 降下物

○降下物については、毎月、環境保健研究センター（高松市）で1箇月間に蓄積されたものについて測定しています。

平成29年3月1日から平成29年4月3日までの1箇月間に環境保健研究センター（高松市）で蓄積された降下物の放射性物質について測定した結果、放射性セシウム等は検出されませんでした。

採取期間	セシウム-134 メガベクレル/km ²	セシウム-137 メガベクレル/km ²	ヨウ素-131 メガベクレル/km ²
平成29年3月1日9時から 平成29年4月3日9時まで	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)
検出下限値	0.055	0.050	0.39

4) 上水（蛇口水）

○毎年1回、環境保健研究センター（高松市）で蛇口から上水100リットルを採取して放射性物質を測定しています。

平成28年6月7日に採取した上水を濃縮して、放射性物質について測定した結果、放射性セシウム等は検出されませんでした。

採取日	セシウム-134 (ミリベクレル/l)	セシウム-137 (ミリベクレル/l)	ヨウ素-131 (ミリベクレル/l)
平成28年6月7日	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)
検出下限値	0.33	0.27	3.8

5) 土壌(未耕地)

○坂出市内の未耕地で、毎年1回、上層(0~5cm)、下層(5~20cm)の土壌を採取し、放射性物質を測定しています。

平成28年度の調査でも、ごく微量の放射性セシウムが検出されましたが、これまでの測定値と同程度でした。

	採取日	セシウム-134		セシウム-137		ヨウ素-131	
		測定結果	検出限界	測定結果	検出限界	測定結果	検出限界
上層: 0~5cm	H28. 7. 11	N. D (検出せず)	1. 2Bq/kg	8. 5Bq/kg	1. 1Bq/kg	N. D (検出せず)	1. 5 Bq/kg
下層: 5~20cm	H28. 7. 11	N. D (検出せず)	0. 96Bq/kg	1. 6Bq/kg	0. 97Bq/kg	N. D (検出せず)	1. 8 Bq/kg

6) 農・畜・水産物(精米、野菜、牛乳、魚類)

○毎年1回、県内産の精米、大根、ホウレンソウ、牛乳、カレイについて、検出精度を高めた方法により、ごく微量の放射性物質を測定しています。

平成28年度の調査結果

	採取日	セシウム-134		セシウム-137		ヨウ素-131	
		測定結果	検出限界	測定結果	検出限界	測定結果	検出限界
牛乳	H28. 8. 19	N. D (検出せず)	0. 021Bq/L	N. D (検出せず)	0. 019Bq/L	N. D (検出せず)	0. 044Bq/L
魚類(カレイ)	H28. 10. 21	N. D (検出せず)	0. 085Bq/kg	0. 088 Bq/kg	0. 041Bq/kg	N. D (検出せず)	0. 91Bq/kg
精米	H28. 10. 25	N. D (検出せず)	0. 092Bq/kg	N. D (検出せず)	0. 089Bq/kg	N. D (検出せず)	0. 25Bq/kg
野菜 (ダイコン)	H28. 11. 30	N. D (検出せず)	0. 024Bq/kg	N. D (検出せず)	0. 021Bq/kg	N. D (検出せず)	0. 084Bq/kg
野菜 (ほうれんそう)	H28. 11. 30	N. D (検出せず)	0. 035Bq/kg	N. D (検出せず)	0. 034Bq/kg	N. D (検出せず)	0. 097Bq/kg

2 過去の測定結果

1) 大気中の放射線量

①モニタリングポストによる常時監視

○平成 23 年度までは、大気中の放射線量は、環境保健研究センターのモニタリングポストで常時監視していました。

区 分	放射線量 (マイクロシーベルト/時)											
	環境保健研究センター (高松市) 21.8m			東讃保健福祉事務所 (さぬき市) 1m			中讃保健福祉事務所 (丸亀市) 1m			西讃保健福祉事務所 (観音寺市) 1m		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
平成 12 年度	0.054	0.049	0.085	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 13 年度	0.055	0.053	0.093	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 14 年度	0.056	0.051	0.078	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 15 年度	0.056	0.051	0.093	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 16 年度	0.059	0.054	0.088	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 17 年度	0.060	0.055	0.096	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 18 年度	0.062	0.056	0.092	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 19 年度	0.060	0.054	0.094	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 20 年度	0.054	0.050	0.076	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 21 年度	0.053	0.051	0.077	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 22 年度	0.053	0.051	0.085	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 23 年度	0.055	0.050	0.088	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 24 年度	0.055	0.053	0.091	0.076	0.072	0.098	0.056	0.051	0.091	0.056	0.052	0.091
平成 25 年度	0.055	0.051	0.081	0.076	0.072	0.103	0.055	0.052	0.100	0.056	0.052	0.076
平成 26 年度	0.053	0.050	0.074	0.076	0.071	0.103	0.055	0.052	0.085	0.056	0.053	0.081
平成 27 年度	0.053	0.051	0.076	0.076	0.072	0.099	0.055	0.052	0.093	0.056	0.040	0.083

②サーベイメータによる補足調査

○平成 23 年 6 月 24 日から 12 月 28 日までは、毎日、環境保健研究センターでサーベイメータを使用して、地上高 1.0m での測定を行っていました。また、平成 23 年 7 月から平成 24 年 3 月までの毎月、高松市を除く県内の各市町庁舎敷地内でサーベイメータを使用して、地上高 1.0m の空間放射線量を測定していました。

平成 24 年度からは、毎月、環境保健研究センターと小豆総合事務所でサーベイメータを使用して、地上高 1m の空間放射線量を測定しています。

・高松市（環境保健研究センター）での空間放射線量測定結果（地上高 1.0m）

測定日（※原則各日 10:00 測定）	放射線量（マイクロシーベルト/時）		
	平均値	最小	最大
平成 23 年 6 月 24 日～12 月 28 日	0.060	0.051	0.069

・市町別測定結果（高松市以外は、各市町庁舎敷地内で測定）（地上高 1.0m）

測定場所	測定年月日・放射線量（マイクロシーベルト/時）								
	平成 23 年						平成 24 年		
	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
高松市 （環境保健研究センター）							0.065	0.059	0.059
丸亀市役所	0.071	0.059	0.059	0.059	0.059	0.061	0.063	0.065	0.063
坂出市役所	0.074	0.057	0.059	0.065	0.057	0.063	0.065	0.063	0.063
善通寺市役所	0.061	0.059	0.067	0.063	0.065	0.069	0.073	0.065	0.063
観音寺市役所	0.057	0.057	0.057	0.063	0.061	0.059	0.063	0.061	0.063
さぬき市役所	0.059	0.057	0.065	0.059	0.063	0.061	0.063	0.065	0.069
東かがわ市役所	0.059	0.061	0.067	0.065	0.063	0.063	0.069	0.065	0.069
三豊市役所	0.059	0.059	0.061	0.059	0.057	0.059	0.055	0.057	0.061
土庄町役場	0.059	0.057	0.059	0.067	0.063	0.063	0.069	0.069	0.059
小豆島町役場	0.051	0.051	0.049	0.065	0.065	0.055	0.061	0.067	0.061
三木町役場	0.059	0.059	0.059	0.057	0.059	0.057	0.055	0.057	0.059
直島町役場	0.063	0.069	0.065	0.061	0.059	0.061	0.063	0.071	0.069
宇多津町役場	0.067	0.049	0.049	0.051	0.063	0.057	0.059	0.055	0.057
綾川町役場	0.057	0.055	0.051	0.057	0.055	0.051	0.061	0.059	0.061
琴平町役場	0.063	0.063	0.067	0.065	0.065	0.069	0.071	0.063	0.065
多度津町役場	0.055	0.049	0.049	0.045	0.053	0.045	0.051	0.049	0.051
まんのう町役場	0.059	0.061	0.065	0.063	0.063	0.063	0.063	0.065	0.059

・高松市（環境保健研究センター）及び小豆総合事務所で測定結果（地上高 1.0m）

	放射線量（マイクロシーベルト/時）					
	環境保健研究センター			小豆総合事務所		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大
平成 24 年度	0.061	0.059	0.064	0.060	0.052	0.064
平成 25 年度	0.062	0.060	0.064	0.062	0.056	0.064
平成 26 年度	0.059	0.056	0.061	0.058	0.056	0.062
平成 27 年度	0.062	0.059	0.065	0.059	0.053	0.064

2) 大気浮遊じん

○毎年、4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月のそれぞれ3箇月間で延べ6日間、環境保健研究センター（高松市）で採取した大気浮遊じん（大気中に浮遊している塵）について、放射性物質を測定しています。

・東日本大震災前の測定データ（3箇月毎に測定）

測定年度	放射性セシウム等（ベクレル/m ³ ）	
	最小	最大
平成12年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成13年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成14年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成15年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成16年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成17年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成18年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成19年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成20年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成21年度	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成22年度*	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）

*平成22年度については、1月～3月分は、3月11日以前に採取

・東日本大震災後の測定データ

採取期間	セシウム-134 (ベクレル/m ³)	セシウム-137 (ベクレル/m ³)	ヨウ素-131 (ベクレル/m ³)
平成23年4月～6月分	0.00025	0.00023	N.D（検出せず）
平成23年7月～9月分	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成23年10月～12月分	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成24年1月～3月分	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成24年度～26年度分	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成27年度分	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成28年4月～6月分	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成28年7月～9月分	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）
平成28年10月～12月分	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）	N.D（検出せず）

3) 降下物

①1 箇月間の降下物

○降下物については、環境保健研究センター（高松市）で1箇月間に蓄積されたものについて測定しています。

・東日本大震災前の測定データ

測定年度	放射性セシウム等（メガベクレル/km ² ）	
	最小	最大
平成 12 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 13 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 14 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 15 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 16 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 17 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 18 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 19 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 20 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 21 年度	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 22 年度(平成 23 年 2 月分まで)	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）

・東日本大震災後の測定結果

採取期間	セシウム-134 (メガベクレル/km ²)	セシウム-137 (メガベクレル/km ²)	ヨウ素-131 (メガベクレル/km ²)
平成 23 年 3 月分	0.086	0.057	1.5
4 月分	5.4	5.1	11
5 月分	0.24	0.29	N. D（検出せず）
6 月分	N. D（検出せず）	0.075	N. D（検出せず）
7 月分	N. D（検出せず）	0.050	N. D（検出せず）
平成 23 年 8 月分～ 24 年 3 月分	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 24 年度～26 年度分	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 27 年度分	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 28 年 4 月～9 月分	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 28 年 10 月分	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 28 年 11 月分	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 28 年 12 月分	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 29 年 1 月分	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）
平成 29 年 2 月分	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）

②1 日の降下物

○東日本大震災後は、平成 23 年 3 月 18 日から 12 月 27 日まで、1 箇月分の降下物に加えて、1 日分の降下物についても環境保健研究センター（高松市）で測定していましたが、すべて検出限界以下でした。

採取期間	セシウム-134 (メガベクレル/km ²)	セシウム-137 (メガベクレル/km ²)	ヨウ素-131 (メガベクレル/km ²)
平成 23 年 3 月 18 日) 平成 23 年 12 月 27 日	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）	N. D（検出せず）

4) 上水（蛇口水）

①上水 100 リットル中の放射性セシウム等の濃度

○毎年1回、環境保健研究センター（高松市）で蛇口から上水 100 リットルを採取し濃縮して放射性物質を測定しています。

測定年度	放射性セシウム等 (ミリベクレル/ℓ)
平成 12 年度	N. D (検出せず)
平成 13 年度	N. D (検出せず)
平成 14 年度	N. D (検出せず)
平成 15 年度	N. D (検出せず)
平成 16 年度	N. D (検出せず)
平成 17 年度	N. D (検出せず)
平成 18 年度	N. D (検出せず)
平成 19 年度	N. D (検出せず)
平成 20 年度	N. D (検出せず)
平成 21 年度	N. D (検出せず)
平成 22 年度	N. D (検出せず)
平成 23 年度	N. D (検出せず)
平成 24 年度	N. D (検出せず)
平成 25 年度	N. D (検出せず)
平成 26 年度	N. D (検出せず)
平成 27 年度	N. D (検出せず)

②毎日（2リットル）の上水中の放射性セシウム等の濃度

○東日本大震災後は、毎年1回の測定に加え、平成 23 年 3 月 18 日から 12 月 27 日まで、毎日上水を 2 リットル採取し、測定していましたが、放射性セシウム等が検出されたことはありませんでした。

採取期間	セシウム-134 (ベクレル/ℓ)	セシウム-137 (ベクレル/ℓ)	ヨウ素-131 (ベクレル/ℓ)
平成 23 年 3 月 18 日 ～ 平成 23 年 12 月 27 日	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)

③3箇月間の上水中の放射性セシウム等の濃度

○平成 24 年 1 月から平成 28 年 3 月まで、環境保健研究センターで土日祝日を除く毎日、蛇口から水道水を 1.5 リットル採水し、3 箇月毎に濃縮して放射性物質を測定していましたが、放射性セシウム等が検出されたことはありませんでした。

採取期間	セシウム-134 (ミリベクレル/ℓ)	セシウム-137 (ミリベクレル/ℓ)	ヨウ素-131 (ミリベクレル/ℓ)
平成 24 年 1 月～ 3 月分	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)
平成 24 年度分	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)
平成 25 年度分	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)
平成 26 年度分	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)
平成 27 年 4 月～ 6 月分	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)
平成 27 年 7 月～ 9 月分	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)
平成 27 年 10 月～ 12 月分	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)
平成 28 年 1 月～ 3 月分	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)	N. D (検出せず)

5) 土壌(未耕地)

○坂出市内の未耕地で、毎年1回、上層(0~5cm)、下層(5~20cm)の土壌を採取し、放射性物質を測定しています。

ごく微量の放射性セシウムが上層を中心に検出されていますが、東日本大震災前後で顕著な差は認められていません。

(セシウム-137 ベクレル/kg)

	上層(0~5cm)	下層(5~20cm)
平成16年度	5.8	1.8
平成17年度	7.8	2.0
平成18年度	8.1	N.D (検出せず)
平成19年度	9.7	1.6
平成20年度	16	3.2
平成21年度	7.4	2.1
平成22年度	8.0	N.D (検出せず)
平成23年度	10	N.D (検出せず)
平成24年度	8.3	N.D (検出せず)
平成25年度	12	2.4
平成26年度	6.1	1.1
平成27年度	6.2	N.D (検出せず)

6) 農・畜・水産物(精米、野菜、牛乳、カレイ)

○毎年1回、県内産の精米、大根、ホウレンソウ、牛乳、カレイについて、検出精度を高めた方法により、ごく微量の放射性物質を測定しています。

カレイ、ホウレンソウで放射性セシウム-137が検出されている年がありますが、ごく微量の放射性物質(一般食品の基準値(100Bq/kg)の1/1000以下)であり、健康への影響はありません。

(セシウム-137)

	精米	ダイコン	ホウレンソウ	牛乳	カレイ
平成16年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.054 Bq/kg
平成17年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.056 Bq/kg
平成18年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.056 Bq/kg
平成19年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)
平成20年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.063 Bq/kg
平成21年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.051 Bq/kg
平成22年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.054 Bq/kg
平成23年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.037 Bq/kg	N.D (検出せず)	0.055 Bq/kg
平成24年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)
平成25年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.070 Bq/kg
平成26年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.084 Bq/kg
平成27年度	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	N.D (検出せず)	0.069 Bq/kg

(参考)

○測定結果

【大気中の放射線量】

測定値は放射線量に換算しています。

放射線量 (マイクロシーベルト/時)

=空間放射線量率 (ナノグレイ/時) \div 1000 \times 換算係数(1)

○放射線の単位の意味

シーベルト (Sv) : 放射線が人体に与える影響を表す単位

グレイ (Gy) : 放射線から受けるエネルギー量を表す単位

ベクレル (Bq) : 放射線を出す能力である放射能の強さを表す単位

マイクロ (μ) : 100万分の1 (10^{-6})

ナノ (n) : 10億分の1 (10^{-9})

メガ (M) : 100万 (10^6)